

政策 02 いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり

施策 02 地域福祉の推進

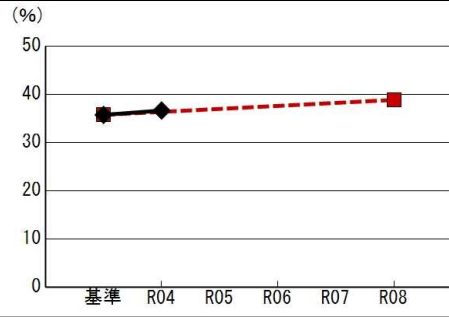


あるべき姿

福祉意識が高まり、お互いに助け合う市民が増えています。

施策の成果状況と評価

指標	地域単位での福祉活動で相互扶助ができていると思う市民の割合 (%)		対基準値	指標値の注釈
			☀️ (向上)	
指標の動き	後期基準値	35.7	対前年度 ☔️ (低下) 目標達成度 ■■■ (中)	分析 評価 令和4年度から開始された重層的支援体制整備事業について、セミナー開催等の周知活動を行っており、これらを通じて住民同士のケア・支えあ関係性を育む意識の醸成が徐々になされていることが要因の一つとして挙げられます。
	R04実績	36.6		
	R05実績			
	R06実績			
	R07実績			
	R08実績			
	R08目標値	38.8		



基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域を支える担い手づくり

指標	福祉ボランティアに参加した市民の割合（％）		対基準値	【福祉課】	☀️ (向上)	指標値の注釈
	後期基準値	10.9	☀️			分析 評価
指標の動き	R04実績	11.6	☔️ (低下)	☔️ (低下)	目 標 達成度	コロナ禍ではありましたが、行動制限も徐々に解除され様々な福祉活動や自治会活動なども行われるようになったことから、ボランティア等の活動に対する意識も向上してきたと考えられます。
	R05実績					
	R06実績					
	R07実績					
	R08実績					
	R08目標値	20.0				

基本事業01 地域を支える担い手づくり

指標	地域コーディネーター数（人）		対基準値	【福祉課】	☔️ (低下)	指標値の注釈
	後期基準値	71	☔️			分析 評価
指標の動き	R04実績	66	☔️ (低下)	☔️ (低下)	目 標 達成度	各支部社協において地域コーディネーターを設置し、地域福祉の担い手として活動しているところですが、コロナ禍により、十分な活動と新たな人材の発掘・育成につながらなかったことが原因と考えられます。
	R05実績					
	R06実績					
	R07実績					
	R08実績					
	R08目標値	80				

基本事業01 地域を支える担い手づくり

指標	福祉のボランティア及びNPO団体数（団体）		対基準値	【福祉課】	☔️ (低下)	指標値の注釈
	後期基準値	115	☔️			分析 評価
指標の動き	R04実績	106	☔️ (低下)	☀️ (向上)	目 標 達成度	ボランティアの団体構成員は高齢化に伴い、団体活動や会員の維持が年々難しくなっています。活動団体の中には、未登録のボランティアもいるため登録により地域の情報が得られるなどのメリットと、「支え合い・助け合い」の共助の重要性を発信し、地域を支える担い手の発掘に努めます。
	R05実績					
	R06実績					
	R07実績					
	R08実績					
	R08目標値	170				

基本事業02 地域を支えるネットワークづくり

指標	地区懇談会を開催した支部社会福祉協議会の割合（％）		対基準値	【健康福祉部】	☔️ (低下)	指標値の注釈
	後期基準値	93.8	☔️			分析 評価
指標の動き	R04実績	37.5	☔️ (低下)	☔️ (低下)	目 標 達成度	感染症の拡大状況を見ながら地区懇談会を開催した地区もあれば、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、懇談会を実施をしない支部もありました。
	R05実績					
	R06実績					
	R07実績					
	R08実績					
	R08目標値	100.0				

基本事業02 地域を支えるネットワークづくり

指標	民生委員・児童委員の相談件数(件)		【福祉課】	対基準値	指標値の注釈
				☀	
指標の動き	後期基準値	2,520		(向上)	分析 評価
	R04実績	2,922		☂	
	R05実績			(低下)	
	R06実績			☂	
	R07実績			目 標	
	R08実績			達 成 度	
	R08目標値	4,040		☐	
健康・保健医療に関する相談が減少していることが主たる要因として挙げられますが、子育て・母子保健や子どもの地域生活、教育・学校生活等、子どもに係る相談数は伸びています。コロナ禍ではありましたが、徐々に学校生活に日常が戻ってきていることもあり、子どもに係る相談が伸びたと考えられます。					

基本事業03 誰もが自分らしく生きるための仕組みづくり

指標	重層的支援に係る事業数(事業)		【福祉課】	対基準値	指標値の注釈
				(比較不可)	
指標の動き	後期基準値	0		対前年度	分析 評価
	R04実績	13.0		(比較不可)	
	R05実績			(比較不可)	
	R06実績			目 標	
	R07実績			達 成 度	
	R08実績			(---)	
	R08目標値	25.0			
8050問題、孤独・孤立化、ケアラーなど、高齢者や障がい者、こどもといった属性を問わず、対象者やその家庭が抱える課題が複雑化・複合化しています。R4年度に事業の所管替えや統廃合があったため、事業数が13となりました。					

基本事業04 安心して生活ができる環境づくり

指標	近隣とのコミュニケーション・交友関係が構築されている市民の割合(%)		【福祉課】	対基準値	指標値の注釈
				☂	
指標の動き	後期基準値	39.0		(低下)	分析 評価
	R04実績	37.5		☂	
	R05実績			(低下)	
	R06実績			☂	
	R07実績			目 標	
	R08実績			達 成 度	
	R08目標値	55.0			
長く続いたコロナ禍の影響により、これまでの近所づきあいやコミュニケーションが回復しきれていない状況であることが考えられます。					

基本事業04 安心して生活ができる環境づくり

指標	避難行動要支援者避難支援制度登録者のうち個別計画作成割合(%)		【福祉課】	対基準値	指標値の注釈
				☂	
指標の動き	後期基準値	65.9		(低下)	分析 評価
	R04実績	52.6		☂	
	R05実績			(低下)	
	R06実績			☂	
	R07実績			目 標	
	R08実績			達 成 度	
	R08目標値	100			
避難行動要支援者名簿への登録については、制度の認知度が依然として低い状況にあること、また個別避難計画において1人の要支援者に対し避難支援者を2人確保し記載しなければならないことが、登録の進まない原因として挙げられます。					